

# さわどい

สมาคมมิตรภาพ ไทย-ชาวสยาม

2018年5月  
38号

発行

埼玉・タイ王国友好協会事務局  
〒350-1188 川越市田町32-12  
武州ガス㈱内 ☎049-247-5428

埼玉・タイ王国友好協会会報

URL: <http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

# 埼玉



▲完成したポメロップ幼小中校食堂前での記念撮影



▲サオワパー校長と記念品の交換をする原会長



▲完成した食堂内部の様子

## 日タイ修好130周年記念事業実施 第11回タイ王国親善訪問報告

昨年の総会決議に基づき、日タイ修好130周年記念事業として、タイ北部ランプーン県のポメロップ幼小中校への食堂建設・寄贈、電力インフラが未達である同県ホワイホーム村の通学路への太陽電池式街灯の設置、ランパン県の山岳民族職業訓練センターへの図書寄贈という3つの事業を実施しました。

食堂の建設は、昨年9月27日に調印式を行い、12月に完成しました。建設資金は455,300バーツ(約155万円)で、会員の皆さまからの会費により建設されました。

食堂の完成に合わせて、2月9日から14日にかけて会員有志と事務局合計16名で第11回親善訪問を行い、ポメロップ幼小中校食堂引渡式への参加や街灯設置場所及び図書寄贈場所への訪問、及び継続事業である次期人材育成支援候補者との面談を行いました。

また、事務局にて今後の活動の現地窓口となる可能性のある学校や政府関係機関及び在タイ日本企業の駐在所等を訪問し、当協会の活動報告や意見交換、情報収集を行ってきました。



# タイ王国訪問記 3事業の報告

## ①ランブーン県ポメロップ幼小 中学校食堂引渡式

親善訪問団は、2月9日に成田空港を出発し、その夜チェーンマイに到着、翌日10日に食堂引渡式に向け出発しました。当日は、現地でご協力いただいたいる当協会会員の堀田様も加わり、ホテルを7時45分に出発、9時にポメロップ幼小中学校に到着、タイでは「9」が縁起が良い数字とのことから、9時29分より引渡式が開始されました。10日は土曜日で学校が休校にもかかわらず、同校に到着すると、教員のほか生徒数名が出迎えてくれました。

引渡式には、ポメロップ幼小中学校のサオワパー校長をはじめ、来賓として在チェンマイ日本国総領事館の青木領事やランブーン県副教育局長のほか、村長や建設に携わった方々にもご出席いただきました。



▲挨拶するサオワパー校長

今回の支援に対して、校長から「心から感謝している。大切に使用していきたい」との謝辞がありました。また、ご出席いただいた青木領事からは「食堂を利用し、学校行事も行うことができるので、大変ありがたい」とのご祝辞がありました。さらに、副教育局長や村長から支援に対するお礼の言葉がありました。

原会長からは、建設に関係した方々への感謝と、食堂の完成



▲挨拶する青木領事



▲学校からの記念品を受け取る関根さん  
(初雁興業(株)代表取締役社長)

により、生徒がより良い環境の中で学校生活を送り、元気で立派な子供に育ってほしいとの希望を述べました。

## ②ランブーン県電気のない村への訪問

引渡式終了後、通学路に太陽電池式街灯を設置したホワイホーム村へ向かいました。ホワイホーム村へは、道幅が狭く未舗装のため、タイ特有の「ソントウ」という小型バス(小型トラックを改修したもの)3台に分乗して向かいました。

村では、村長と村の執行部、近隣の村長と村人達が出迎えてくれました。村の代表から支援のお礼と、村のインフラの現状について説明がありました。電力インフラがなく、夜間は真っ暗になってしまったため、今回は街灯5基を設置しましたが、効果的であったと感じました。

## ③ランブーン県図書寄贈先の山岳民族職業訓練センターの訪問

11日には山岳民族職業訓練センターを訪問し、施設の管理をしている王室直属の職員であるリカラト先生と面会しました。先生からは、図書寄贈に対するお礼と、仏教や農業に関する本のため、生徒に有効に活用されているとの言葉がありました。



▲ホワイホーム村の高床式の家



▲子供たちに紙風船をプレゼントする金田さん  
(埼玉りそな銀行本川越支店長)



▲寄贈図書の本棚にも130周年記念ロゴ、寄贈者を記載しました



▲施設内の家畜の糞を利用したバイオガス設備を説明する協力者のタナさん



▲太陽電池式街灯の前で記念撮影

▲街灯バッテリー収納部に130周年記念ロゴ、寄贈者を記載しました



## ポメロップ幼小中校 食堂引渡式 会長挨拶



▲挨拶する原会長

「(会長挨拶全文) 皆さま、こんにちは。埼玉・タイ王国友好協会会長の原でございます。

この度は、新しい食堂の完成、誠におめでとうございます。また、建設に関係した皆さまに感謝いたします。

当協会は、埼玉県とタイ王国の友好関係の進展を図ることを目的として設立され、会員の皆さまのご協力のもと、数々の友好親善事業への協力、タイ北部地域の教育関連施設の建設、人材育成支援などに取り組んでおります。

昨年は、目タイ修好130周年という記念の年であり、私ども埼玉・タイ王国友好協会も、このポメロップ幼小中校の食堂建設を含む3つの記念事業を実施することを決定しました。

本日、完成した食堂を見て、

大変嬉しく思っております。

生徒の皆さんには、この食堂の完成により、これまでよりも良い環境の中で学校生活を送っていたいただき、そして元気で、素直な、立派な子供に育っていただきたいと思います。

最後に「日本国 埼玉県より心をこめて 食堂をポメロップ幼小中校に寄贈する」ことを宣言し、タイ王国及びポメロップ幼小中校の益々のご発展と、本日よりご参加の皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念致しまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。」

## 人材育成支援 次回支援候補者との面談

次の目的地であるパラオ幼小中校を訪問し、平成30年度の人材育成支援候補者2人との面談を行いました。この地域では、親世代の識字率が低く、収入の少ない家庭が多いため、候補者は「一生懸命勉強して自分が公務員となって安定した収入を得て、貧困である現状を改善するために地元で教員を目指したい」と話していました。

高校へ進学する場合は寄宿することになり親元を離れますが、同席していた親は本人の将来を



▲パラオ幼小中校の生徒・保護者・学校関係者との集合写真

大切に考えており、支援によって進学が可能になることを嬉しく思うと話していました。

## 現地日本関係事務所 訪問

政府関係機関及び在タイ日本企業の駐在所での意見交換では、バンコク等の都市部と地方との格差についての意見がありました。実際に訪問し、バンコクの高層ビルと電力インフラのない村のように、都市部が豊かであ

る一方、地方に資金がまわっていない印象を受けました。また、地方自治体の支援の及ばない部分のインフラ整備の必要性のほか、地方に貢献できる人材を育てることの重要性に対する意見もありました。

今後とも支援のニーズ調査を実施しながら、当協会として何が効果的に支援できるか検討し、実行していきたいと思えます。



▲在タイ日本大使館次席公使福島秀夫様 (左から4人目)



▲在チェンマイ日本国総領事館総領事川田一徳様 (左)



▲明治大学アセアンセンター センター長小沼廣幸様 (右から3人目)



▲東京ガスアジア社取締役社長小林信久様 (右から2人目)



▲りそな銀行バンコク駐在員事務所所長八木英行様 (左から4人目)



# 埼玉・タイ王国友好協会からのお知らせ

## 第19回 タイ・フェスティバル2018

今年のテーマは

### New Shades of Thailand

入場無料 5月12日(土) 13日(日)

10:00 代々木公園  
~  
20:00 イベント広場



▲昨年の開会式典でのテープカットの様子、右から2人目が原会長

## 第20回総会開催

下記の要領で総会を開催します。

バンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使  
のご講演を予定していますので、ぜひご出席ください。

日時: 平成30年7月10日(火)

16:00~17:10

総会・講演会

17:20~18:30

懇親会

場所: 川越東武ホテル

川越市脇田町29-1

☎049-225-0111



▲昨年のバンサーン・ブンナーク駐日タイ王国特命全権大使のご講演



▲昨年の総会会場の様子

## タイ工業省研修員視察受入

埼玉県は、タイ王国工業省と「相互協力に関する覚書」を締結し、埼玉県とタイの中小企業のビジネス環境構築支援や経済交流を行っています。この覚書に基づき、埼玉県とタイの懸け橋となる人材を育成するため、1月23日~31日の間、タイ工業省若手職員2名を研修員として受け入れました。

埼玉県より、当協会事務局である武州ガス(株)へ研修員の視察受入の依頼があり、1月26日に研修生2名が当社を訪問され、埼玉・タイ王国友好協会の取組み及び武州ガスの概要を説明しました。また、当日夕方開催された、研修員とタイ王国大使館、埼玉県庁及び、県内訪問予定企業との懇親会にも原会長と事務局2名が参加しました。



▲前列左2人目から原会長、研修員ワルット・クワンバムルンさん、タイ王国大使館バウォン公使参事官、埼玉県渡辺産業労働部長、研修員プーマリー・スリーウォンさん

## 編集後記

今回の親善訪問では、ソネットウに乗って山間部に入り、ホワイトカレン族の機織りや高床式家屋など、貴重な北部民族文化の一端に触れることができました。

今回で親善訪問は3回目、あらためて子供たちの勉強に対する熱意が感じられた訪問でした。

## 埼玉・タイ王国友好協会ウェブサイト

<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

・会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428  
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス(株)内)